

平成 26 年度学校評価 学校関係者評価書

学校名	多可町立八千代西小学校
-----	-------------

1 学校教育目標

自ら考え、主体的に判断し、行動する大和っ子 ―好きです私、好きです八西―

2 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら考え、主体的に判断し、行動する児童の育成 ○ 自尊感情を高め、郷土への愛情を深める（目指す児童像） ○ いきいきと表現する子の育成をめざして～活用力を高める授業のくふう～（研究テーマ） ○ 協働性を大切にし、自律的な学校経営（教職員の意識と組織）
--

3 自己評価結果（達成状況）

【A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない】

	今後の評価の観点	評価項目（取組内容）	達成状況	取組の状況・改善の方策
1	学習指導	・個に応じたきめ細かな指導 ・指導内容・方法の工夫改善	A	・継続的な朝と放課後を活用した学習 ・授業の見通しとまとめの徹底
2	道徳・人権教育	・自尊感情を高め、友だちを思いやる心の育成 ・いじめを許さない学級づくり	B	・参観日に全学年の道徳授業の実施 ・思いやり集会の実施 ・いじめアンケートの実施と即時対応
3	特別活動	・児童の主体的な活動を重視した指導	B	・計画的、積極的な児童会活動 ・児童会役員や学級委員の育成
4	外国語活動	・英語を使ったコミュニケーションに慣れ親しむ	B	・ALTとの授業前の綿密な打ち合わせ ・英語副読本の活用
5	総合的な学習の時間	・郷土を大切に思う心や態度の育成	B	・地域に活動の場を設定 ・地域の方と草引きやグランドゴルフ交流 ・三原和紙作りの復興
6	特別支援教育	・特別支援教育に係る研修の充実と共通理解 ・特別に支援を必要とする児童への教育的ニーズに応じた支援	B	・定期的な校内ケース会議の実施 ・北はりま特別支援学校教諭による巡回相談やスクールカウンセラーの指導 ・外部関係機関との連携
7	生徒指導	・児童と向き合い、児童理解を深める生徒指導 ・基本的生活習慣の確立	A	・全教職員による共通理解と即時対応 ・家庭と連携した生活習慣、学習習慣の確立に向けた取組（年間4回の元気もりもり大作戦の実施）
8	安全・防災	・生命を守る安全教育の推進 ・実践的な態度や能力を育てる防災教育の推進	B	・防災安全に関する授業の実施 ・大震災追悼集会や避難訓練の実施 ・PTAと連携した日常的な校区内パトロールの実施

	今後の評価の観点	評価項目(取組内容)	達成状況	取組の状況・改善の方策
9	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な研修や校内研修の充実 ・教師としての使命感、責任感 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAにそった校内研修 ・講師招聘による実践的な研修 ・各種研究大会に積極的に参加
10	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域への情報発信 ・家庭・地域との連携した取り組み 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方とのふれあい活動の実施 ・学校だより、HP、FBによる情報公開 ・保護者への安心メールの配信

4 総合的な自己評価

- ・不登校や問題行動もなく、落ち着いた学校で、子どもたちは学校に愛着を持ち、居心地がよいと感じている。年間を通して全校生の皆勤の割合が74%であった。このことは、保護者の我が子への健康管理とともに、保護者や地域の方の学校への理解や協力の賜でもある。
- ・保護者アンケート結果から学校の取組に対して高く評価していただいている。学校の取組の満足度は、5点中前期が4.4点、後期が4.7点と94%がおおいに満足と回答している。
- ・全校児童数57名と小規模校で児童間の交流に限られるため、外部との交流や多くの人との交流の中で、適度な切磋琢磨や積極性、自主性を育成していくことがこれからの課題である。
- ・本年度から実施の「全国学力調査」を2～5年で実施した。どの学年も全国平均とほぼ同じ点数である。本年度の取組評価は、来年度の4月実施を持って行う。

5 学校関係者の評価

- ・家庭での役割分担が減ってきている状況が見られ、家庭での手伝いやしつけといった家庭の教育力を高め、自律していく児童の育成が重要である。
- ・しつけのことなど、先生はもっと厳しく指導をしてほしい。これは、保護者にも言えることである。
- ・三者のアンケートに相関性がほしい。それぞれの評価のズレがはっきりするようにしたい。また、抽象的な質問が多いので、できるようになったことがよく分かるような工夫を求める。
- ・集団登校がきちんとできていない班がある。児童の安全のためにも、班や個々の児童への指導が必要である。
- ・子どもたちはしっかり地域内で挨拶などができている。